

提出課題

以下は、都が発表した「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～」中の文章です。（一部抜粋）
これを英訳して下さい。

東京が日本の成長のエンジンとして、2020年以降の持続可能な成長を目指していくために、今こそ、その方向性を明確にする必要がある。

成長戦略の推進には、国際金融や特区制度の徹底活用など、これまでにない政策の展開が必要である一方で、中小企業振興や地域産業の活性化など東京の成長を支える基盤を着実に固めつつ、東京が持つ力を伸ばしていくことも重要である。大切なのは、機を逸することなく、都がなすべき政策をスピーディに前進させていくことである。こうした考えのもと、本プランにおいて東京の成長創出に資する主な取組を戦略ごとにまとめ、具体的な事業化を図り、迅速かつ着実な歩みを進めていく。

中には、国際金融・経済都市の実現など射程の長い取組もあるが、これらは今後の進捗や政府の成長戦略の動向などに応じて、更なる具体化・充実化を図っていく。

また、今後急速に少子高齢化が進行するとの予測の中で、東京の更なる成長を創出していくためには、人々の生活を支える社会保障制度が持続可能なものとして安定的に運営されていることが不可欠である。国における社会保障制度の議論や制度改革を踏まえ、都としても福祉・保健・医療施策を不断に改革し充実を図っていく。

今回提示するのは、2020年以降の持続可能な成長を目指すための成長戦略の方向性である。東京を巡る社会経済情勢は刻々と変化しており、それに的確に対応していくため、今回示した方向性の下、各政策を日々進化・発展させていく。